

本格実施用の評価基準のレベル対応について（案）

大項目	中項目（仮置き）	レベル2①	レベル2②	レベル3	レベル4
Ⅰ．基本介護技術の評価	入浴介助	○	○	○	×
	食事介助	○	○	○	×
	排泄介助	○	○	○	×
	移乗・移動・体位変換	○	○	○	×
	状況の変化に応じた対応	×	○	○	×
Ⅱ．利用者視点での評価	1. 利用者・家族とのコミュニケーション	×	一部○	○	○
	2. 介護過程の展開	×	×	○	○
	3. 感染症対策・衛生管理	×	○	○	○
	4. 事故発生防止	×	一部○	○	○
	5. 身体拘束廃止	×	×	○	○
	6. 終末期ケア	×	×	○	○
Ⅲ．地域包括ケアシステム&リーダーシップ	1. 地域包括ケアシステム	×	×	×	○
	2. リーダーシップ	×	×	×	○

（注）レベル3までの認定を受けることなくレベル4を申請する場合は、「基本介護技術の評価」を受ける必要がある。

「できる（実践的スキル）」のチェック項目の編成について（案）

大項目	中項目 ※本格実施用	小項目			
		実証事業用		本格実施用（案）	
基本 介護 技術	1. 入浴介助	① 入浴前の確認ができる	2	① 入浴前の確認ができる	2
		② 一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる	6	② 衣服の着脱ができる	5
		③ 全介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる	5		
		④ 洗体ができる	5	③ 洗体ができる	4
		⑤ 清拭ができる	4	④ 清拭ができる	3
	2. 食事介助	① 食事前の準備を行うことができる	4	① 食事前の準備を行うことができる	6
		② 座位で食事をする際の姿勢の介助ができる	2		
		③ 寝たままで食事をする際の姿勢の介助ができる	2		
		④ 食事介助ができる	6	② 食事介助ができる	5
		⑤ 口腔ケアができる	4	③ 口腔ケアができる	4
	3. 排泄介助	① 排泄の準備を行うことができる	3	① 排泄の準備を行うことができる	3
		② トイレ（ポータブル）への移乗を行うことができる	3	② トイレ（ポータブル）での排泄介助ができる	6
③ トイレ（ポータブル）での排泄介助を行うことができる		5			
④ おむつ交換を行うことができる		5	③ おむつ交換を行うことができる	4	
4. 移乗・移動・体位 変換	① 起居の介助ができる	4	① 起居の介助ができる	4	
	② 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	7	② 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	4	
	③ 一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる →削除	7			
	④ 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	7	③ 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	5	
	⑤ 全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる →削除	7			
	⑥ 車いすの移動ができる →削除	4			
	⑦ 杖歩行の介助ができる	5	④ 杖歩行の介助ができる	3	
	⑧ 体位変換ができる	5	⑤ 体位交換ができる	4	

	5. 状況の変化に応じた対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 咳やむせこみに対応ができる ② 下痢の場合に対応ができる→削除 ③ 便・尿の異常に対応ができる ④ 皮膚の異常に対応ができる ⑤ 認知症の方がいつもと違う行動を行った場合に対応ができる 	4 6 5 4 3	<ul style="list-style-type: none"> ① 咳やむせこみに対応ができる ② 便・尿の異常に対応ができる ③ 皮膚の異常に対応ができる ④ 認知症の方がいつもと違う行動を行った場合に対応ができる 	3 4 4 3
利用者視点での評価	1. 利用者・家族とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談・苦情対応ができる ② 利用者特性に応じたコミュニケーションができる 	7 5	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談・苦情対応ができる ② 利用者特性に応じたコミュニケーションができる 	6 6
	2. 介護過程の展開	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者に関する情報を収集できる ② 個別介護計画を立案できる ③ 個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる ④ 個別介護計画の評価ができる 	5 5 5 4	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者に関する情報を収集できる ②個別介護計画を立案できる ③ 個別介護計画に基づく支援の実践・モニタリングができる ④ 個別介護計画の評価ができる 	3 4 4 3
	3. 感染症対策・衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ① 嘔吐物、汚物処理の対応ができる ② 感染症に対する標準予防策や自己管理を講じることができる→一部①に統合 ③ 感染症発生時に対応できる 	4 4 4	<ul style="list-style-type: none"> ① 感染症予防対策ができる ② 感染症発生時に対応できる 	4 2
	4. 事故発生防止ができる	<ul style="list-style-type: none"> ① ヒヤリハットの視点を持っている ② 事故発生時の対応ができる ③ 事故報告書を作成できる 	4 5 3	<ul style="list-style-type: none"> ① ヒヤリハットの視点を持っている ② 事故発生時の対応ができる ③ 事故報告書を作成できる 	3 4 2
	5. 身体拘束廃止	<ul style="list-style-type: none"> ① 身体拘束廃止に向けた対応ができる ② 身体拘束を行わざるを得ない場合の手続きができる 	4 3	<ul style="list-style-type: none"> ① 身体拘束廃止に向けた対応ができる ② 身体拘束を行わざるを得ない場合の手続きができる 	3 2
	6. 緊急時対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 緊急性に応じた対応ができる→削除 ② 緊急事態発生時に、医療職や上司に連絡し、指示を仰ぐことができる→削除 ③ 緊急事態発生時に家族へ連絡ができる→削除 	4 2 2		
	7. 終末期ケア	<ul style="list-style-type: none"> ① 終末期の利用者や家族の状況を把握できる ② 終末期に医療機関との連携ができる 	3 3	<ul style="list-style-type: none"> ①終末期の利用者や家族の状況を把握できる ②終末期に医療機関または医療職との連携ができる 	3 3

地域包括ケアシステム&リーダーシップ	1. 地域包括ケアシステム	① 地域内の社会資源との情報共有	3	①地域内の社会資源との情報共有	3
		② 地域内の社会資源との業務協力	3	②地域内の社会資源との業務協力	2
		③ 地域内の関係職種との交流	6	③地域内の関係職種との交流	2
		④ 域包括ケアの管理業務	3	④域包括ケアの管理業務	2
	2. リーダーシップ	① 現場で適切な技術指導ができる	5	① 現場で適切な技術指導ができる	5
		② ローテーション（シフト）を組むことができる→一部	2		
③ 部下の業務支援を適切に行っている ③に統合		4	② 部下の業務支援を適切に行っている	5	
④ 評価者として適切に評価できる		4	③ 評価者として適切に評価できる	2	

【合計】 2 2 8 → 【合計】 1 4 8